
平成26年度第1四半期 決算説明会資料

平成26年8月8日

日新製鋼株式会社

平成26年度第1四半期決算

平成26年4-6月の概況

- ✓ 国内の鋼材需要は、消費税増税に伴う一時的な停滞が懸念されたものの影響は想定の範囲内にとどまり、全体としては堅調に推移
- ✓ ZAMは、建築、自動車、新エネルギー分野と総じて堅調。受注ベースで約7万トン/月に近いレベルで推移
- ✓ ステンレスは、急騰するニッケル原料価格等に対し、価格改正に取り組むも、1Q時点ではコストアップ影響が先行
- ✓ 5月9日に衣浦製造所ステンレス研磨ラインで発生した火災については、6月8日にNo.1研磨ラインが生産を再開。収益影響は僅少であったが、今後は再発防止に万全を期す

平成26年度第1四半期決算

(億円)

		No	H26年度 4-6月 (実績) a	H25年度 1-3月 (実績) b	差異 a-b				
売	上	高	1	1,510	1,586	▲ 76			
営	業	利	2	22	40	▲ 18			
経	常	利	益	普通鋼・特殊鋼	3	22	19	3	
				ステンレス	4	▲ 10	5	▲ 15	
				計	5	12	24	▲ 12	
四	半	期	純	利	益	6	0	57	▲ 57

在	庫	評	価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 5	10	▲ 15
				ステンレス	8	5	0	5
				計	9	0	10	▲ 10

<実カベース>

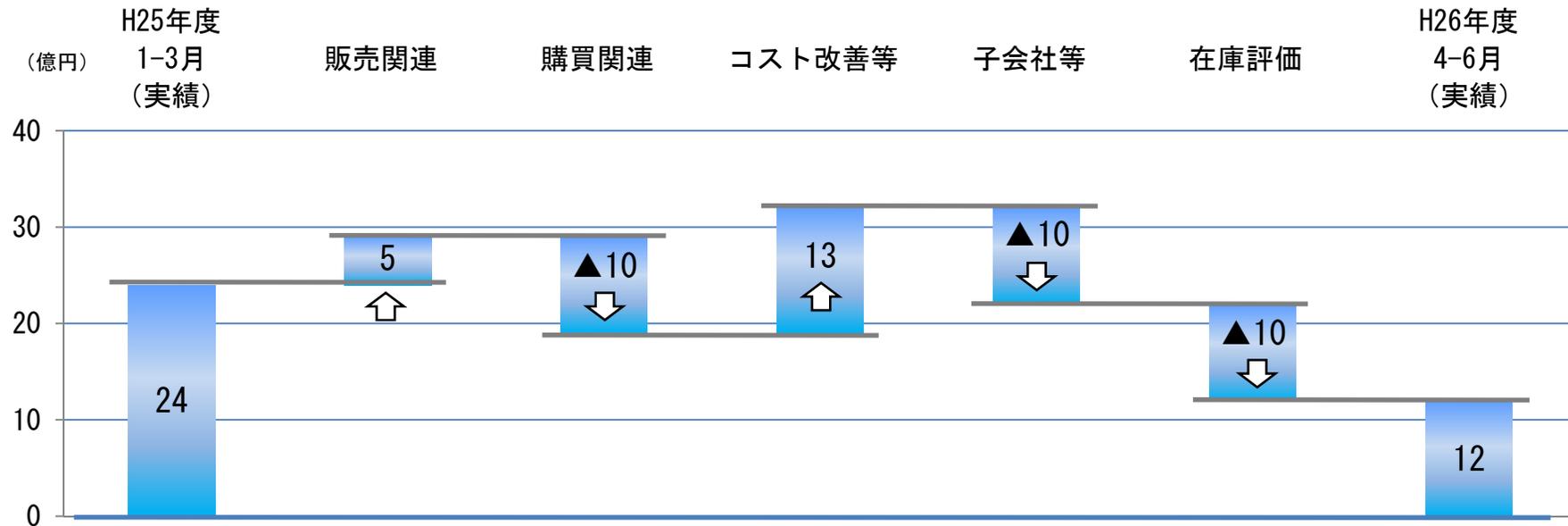
経	常	利	益	普通鋼・特殊鋼	10	27	9	18
				ステンレス	11	▲ 15	5	▲ 20
				計	12	12	14	▲ 2

平成26年度第1四半期諸元

		No	H26年度 4-6月 (実績) a	H25年度 1-3月 (実績) b	差異 a-b
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	82	83	▲ 1
	ステンレス	2	20	21	▲ 1
	計	3	102	104	▲ 2
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	80	82	▲ 2
	ステンレス	5	15	18	▲ 3
	計	6	95	100	▲ 5
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	124	125	▲ 1
輸出比率 (金額ベース, %)		8	17	17	0
輸出為替レート (円/ドル)		9	102	103	▲ 1

経常利益差異内訳

H25年度1-3月(実績):H26年度4-6月(実績)



		(億円)	(内ステンル)
H25年度1-3月 (実績)		24	5
変動要因	販売関連	5	5
	購買関連	▲ 10	▲ 20
	コスト改善等	13	5
	子会社等	▲ 10	▲ 10
	在庫評価	▲ 10	5
計		▲ 12	▲ 15
H26年度4-6月 (実績)		12	▲ 10

貸借対照表 (H26年6月末)

(億円)

			主な内訳
		対H26/3末	
現預金	248	▲ 160	
売上債権	732	▲ 61	
たな卸資産	1,511	75	
その他流動資産	357	▲ 17	
有形・無形固定資産	2,676	▲ 3	償却▲60、取得 47
投資等	1,705	▲ 16	
資産合計	7,232	▲ 184	
有利子負債	3,079	▲ 155	
その他の負債	2,073	50	
負債合計	5,152	▲ 104	
資本金・資本剰余金	1,200	—	
利益剰余金	572	▲ 89	退職給付会計基準変更▲75、配当▲15
自己株式	▲ 87	▲ 0	
その他の包括利益累計額	309	7	
少数株主持分	83	2	
純資産合計	2,079	▲ 79	
負債・純資産合計	7,232	▲ 184	

平成26年度業績予想

平成26年度の見通し

- ✓ 国内の鋼材需要は、すでに自動車など一部の需要部門では回復の傾向が見られるなど、堅調に推移することが見込まれる
- ✓ 一方、海外においては、世界的な鋼材需給ギャップ拡大の問題は継続が予想されるなど、依然として先行き不透明な状況
- ✓ このような経営環境のもと、当期は売上高、営業利益とも増収増益を見込む。（営業利益は195億円 [対前期+30億円] の見通し）
また、前期に計上したグループ会社の一過性要因の減少等が影響し、経常利益は155億円の見通し
- ✓ 合理化・総コスト削減、統合シナジー効果のさらなる積み上げ、グループ一体でコア製品の拡販に注力し、収益拡大に取り組む

平成26年度業績予想

(億円)

	No	H26年度				H25年度	差異		
		上期		下期 (予想)	(予想)	(実績)	① b-a	② d-e	
		4-6月(実績)	7-9月(予想)						
		a	b	c	d	e			
売上高	1	1,510	1,620	3,250	6,380	5,764	110	616	
営業利益	2	22	58	115	195	165	36	30	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	22	28	70	120	127	6	▲ 7
	ステンレス	4	▲ 10	30	15	35	70	40	▲ 35
	計	5	12	58	85	155	197	46	▲ 42
当期純利益	6	0	45	85	130	177	45	▲ 47	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 5	▲ 10	▲ 10	▲ 25	25	▲ 5	▲ 50
	ステンレス	8	5	20	10	35	15	15	20
	計	9	0	10	0	10	40	10	▲ 30

<実力ベース>

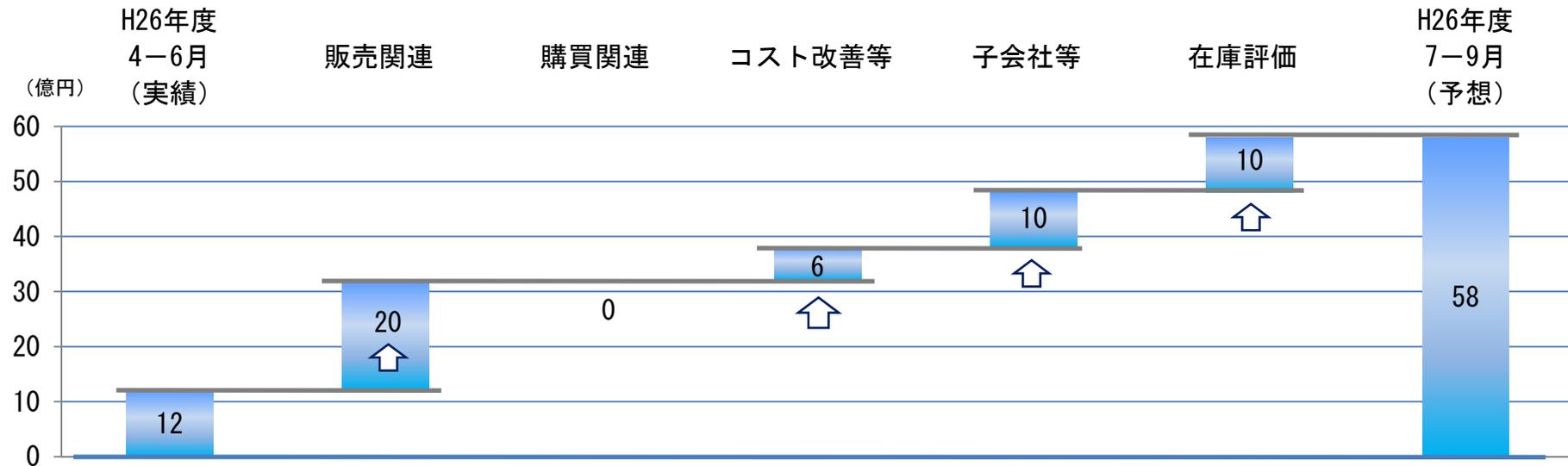
経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	27	38	80	145	102	11	43
	ステンレス	11	▲ 15	10	5	0	55	25	▲ 55
	計	12	12	48	85	145	157	36	▲ 12

平成26年度業績予想諸元

		No	H26年度				H25年度	差異	
			上期		下期 (予想)	(予想)	(実績)	① b-a	② d-e
			4-6月(実績)	7-9月(予想)					
			a	b	c	d	e		
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	82	87	163	332	318	5	14
	ステンレス	2	20	19	38	77	75	▲ 1	2
	計	3	102	106	201	409	393	4	16
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	80	79	167	326	309	▲ 1	17
	ステンレス	5	15	18	32	65	60	3	5
	計	6	95	97	199	391	369	2	22
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	124	132	—	—	123	8	—
輸出比率 (金額ベース, %)		8	17	20	—	—	16	3	—
輸出為替レート (円/ドル)		9	102	102	—	—	100	0	—

経常利益差異内訳

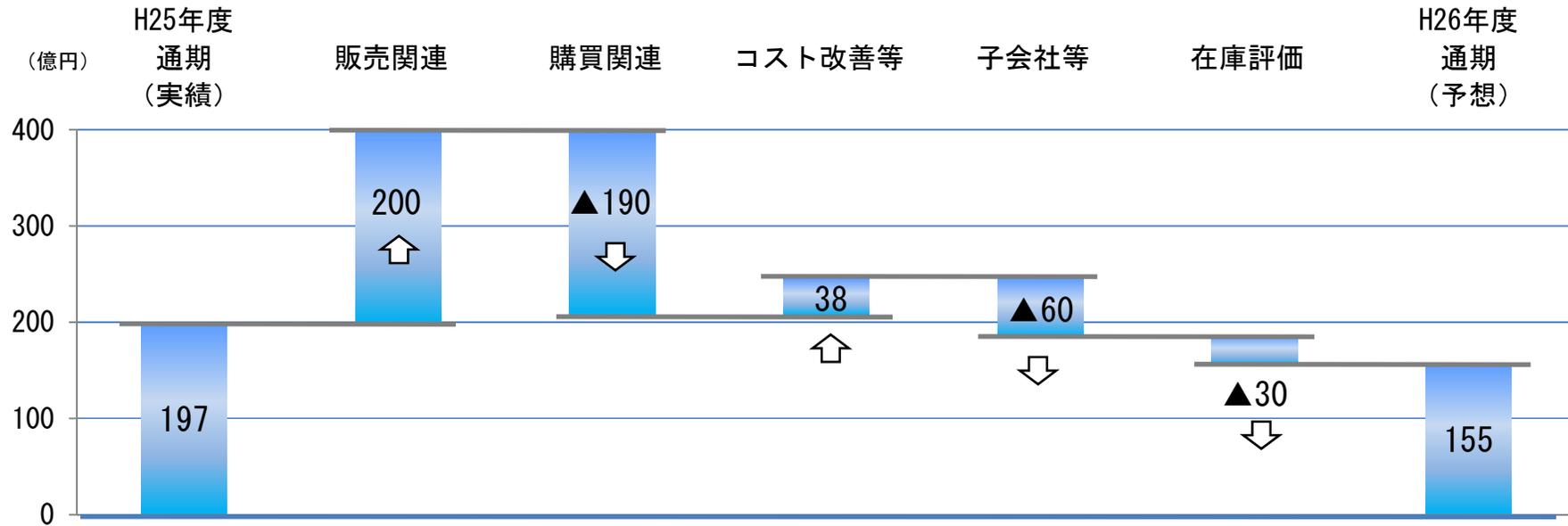
H26年度4-6月(実績):H26年度7-9月(予想)



		(億円)	(内ステンル)
H26年度4-6月(実績)		12	▲ 10
変動要因	販売関連	20	▲ 25
	購買関連	0	▲ 15
	コスト改善等	6	5
	子会社等	10	10
	在庫評価	10	15
計		46	40
H26年度7-9月(予想)		58	30

経常利益差異内訳

H25年度通期(実績):H26年度通期(予想)



H25年度通期 (実績)		197	変動要因	70
変動要因	販売関連	200	価格差 140、数量構成差 45、輸出為替差 15	175
	購買関連	▲ 190	鉄鉱石 30、石炭 35、ニッケル原料▲140、輸入為替差▲90	▲ 195
	コスト改善等	38	合理化 70 他	25
	子会社等	▲ 60	海外連子、持分他	▲ 60
	在庫評価	▲ 30	40→10 (内ステンレス 15→35)	20
計		▲ 42		▲ 35
H26年度通期 (予想)		155		35

剰余金の配当

- ◆第2四半期末配当については、現下の収益状況及び今後の業績動向を踏まえて見送り。通期末の配当については未定。

【利益配分に関する基本方針】

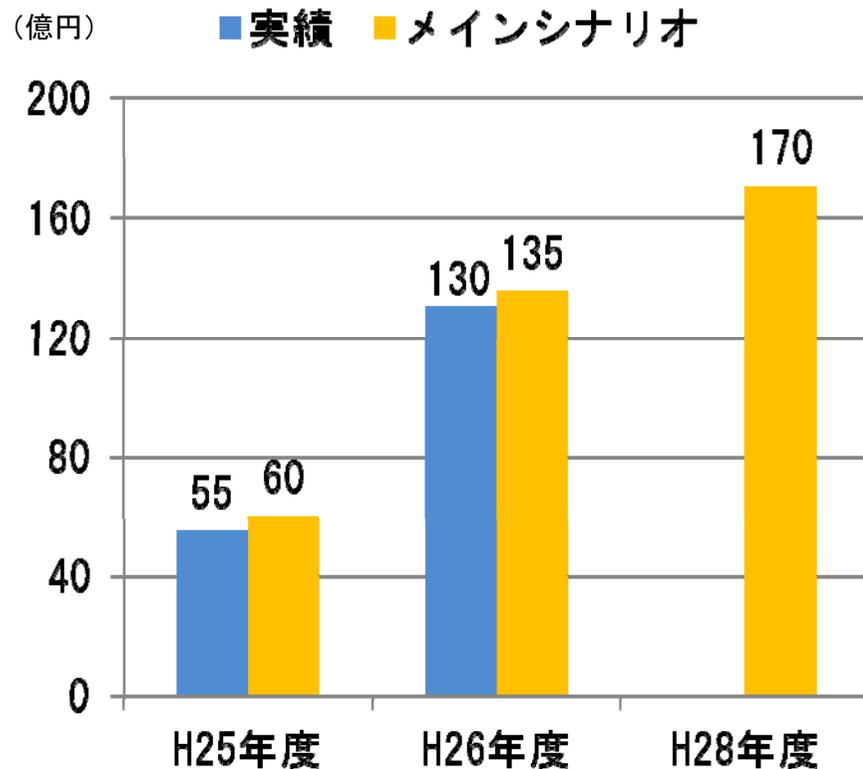
連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえつつ、安定的な株主還元を実施

(ご参考)
主要データ

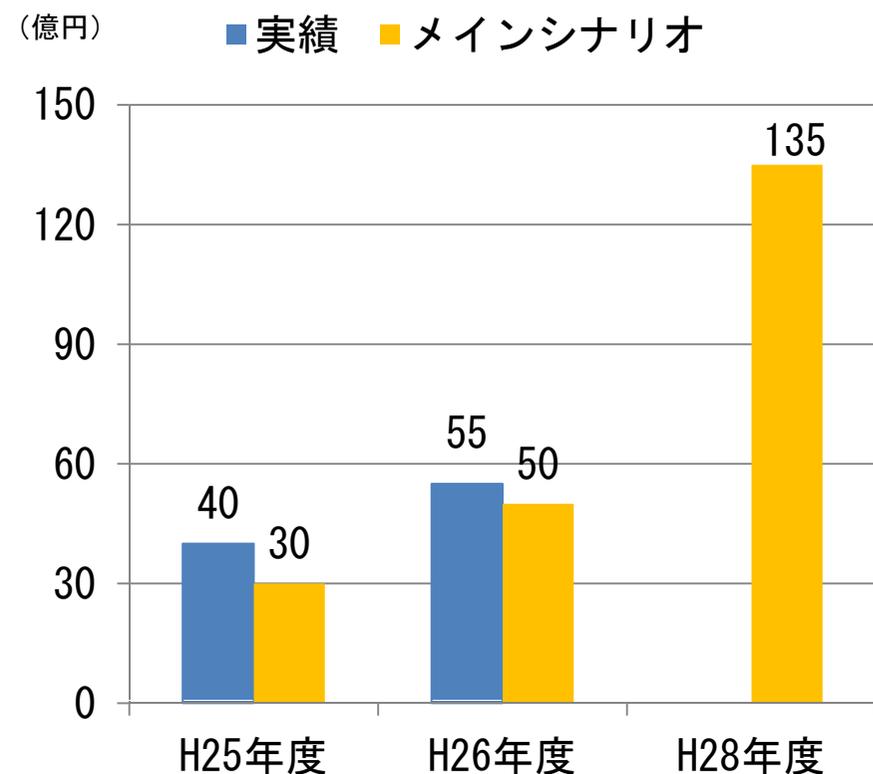


合理化・総コスト削減とシナジー効果

合理化・総コスト削減



シナジー効果

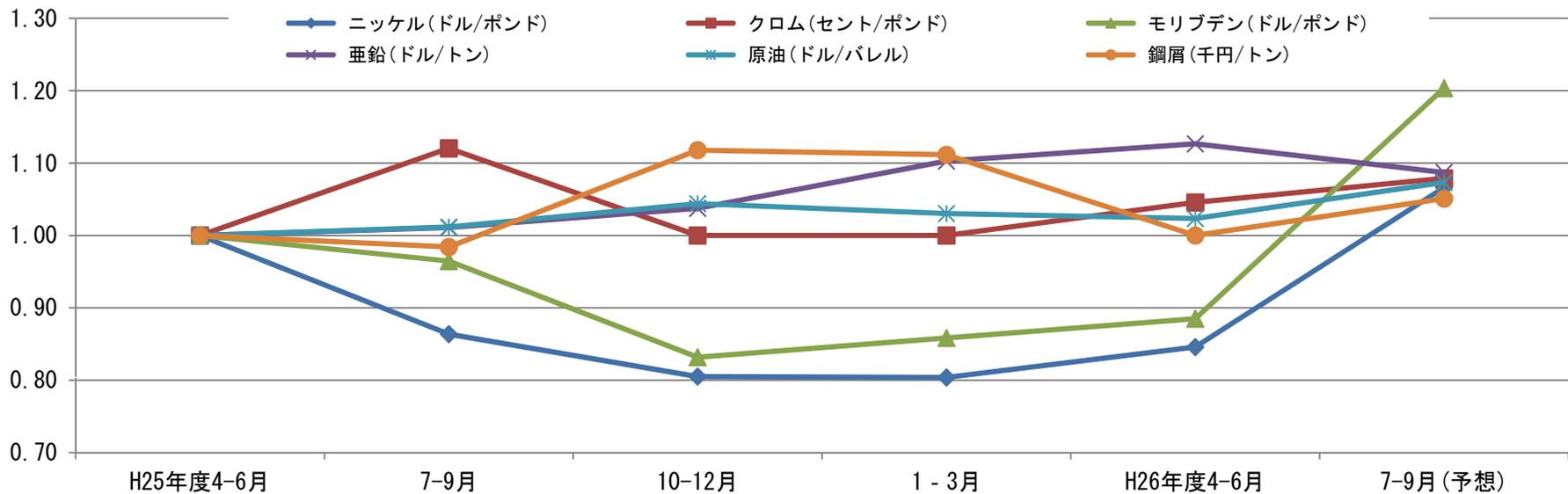


H25年度の高炉安定化操業等の影響はあったものの、合理化・総コストはほぼ計画通りのペースで進捗。シナジー効果はメインシナリオを上回るペースで推移

購買市況(適用ベース)

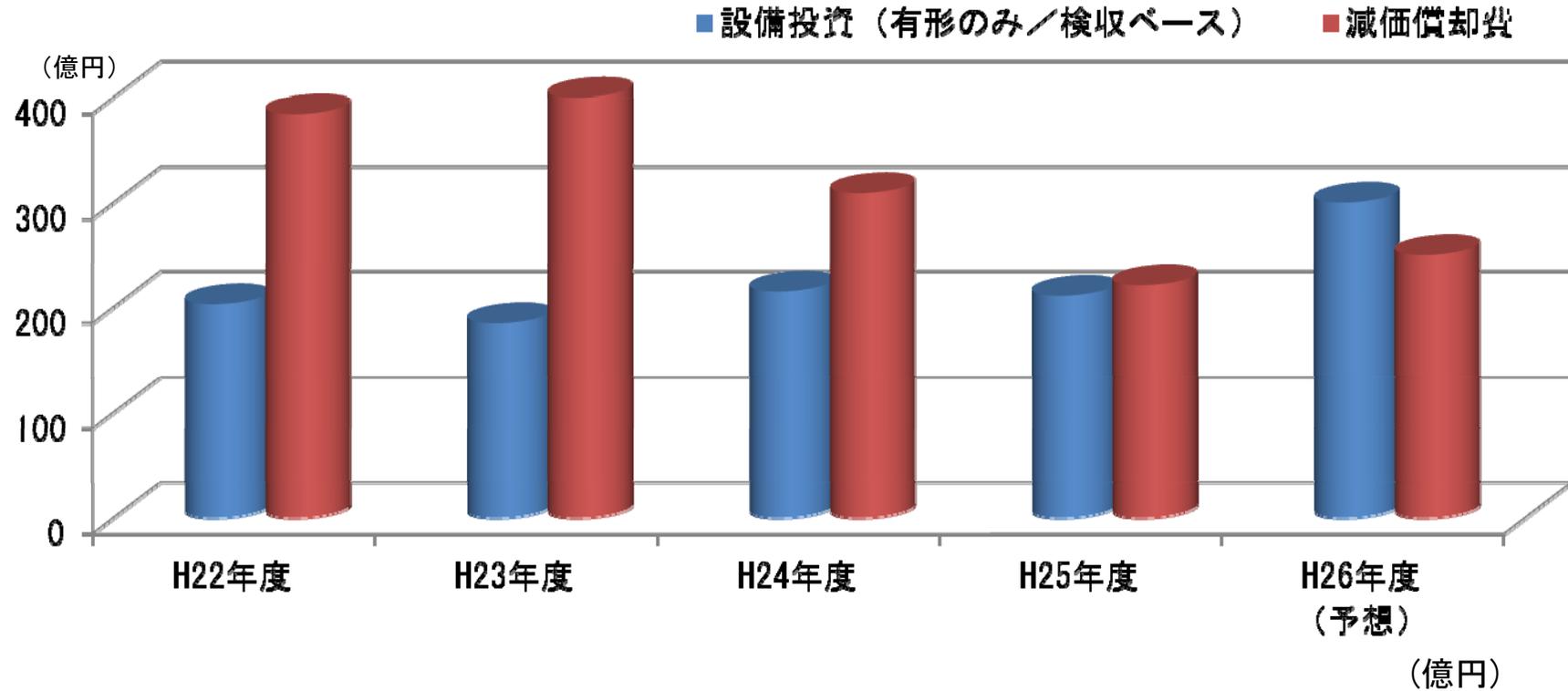
	H25年度							H26年度		
	上期			下期			通期 平均	上期		
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月 (予想)	平均 (予想)
ニッケル(ドル/ポンド)	7.85	6.78	7.32	6.32	6.31	6.32	6.82	6.64	8.37	7.51
クロム(セント/ポンド)	120.5	135.0	127.8	120.5	120.5	120.5	124.1	126.0	130.0	128.0
モリブデン(ドル/ポンド)	11.3	10.9	11.1	9.4	9.7	9.6	10.3	10.0	13.6	11.8
亜鉛(ドル/トン)	1,840	1,860	1,850	1,909	2,029	1,969	1,910	2,073	2,000	2,037
原油(ドル/バレル)	102.5	103.7	103.1	107.0	105.6	106.3	104.7	104.9	110.0	107.5
鋼屑(千円/トン)	31.4	30.9	31.2	35.1	34.9	35.0	33.1	31.4	33.0	32.2

購買市況の推移 (H25年度4-6月を1.00)



設備投資・減価償却費

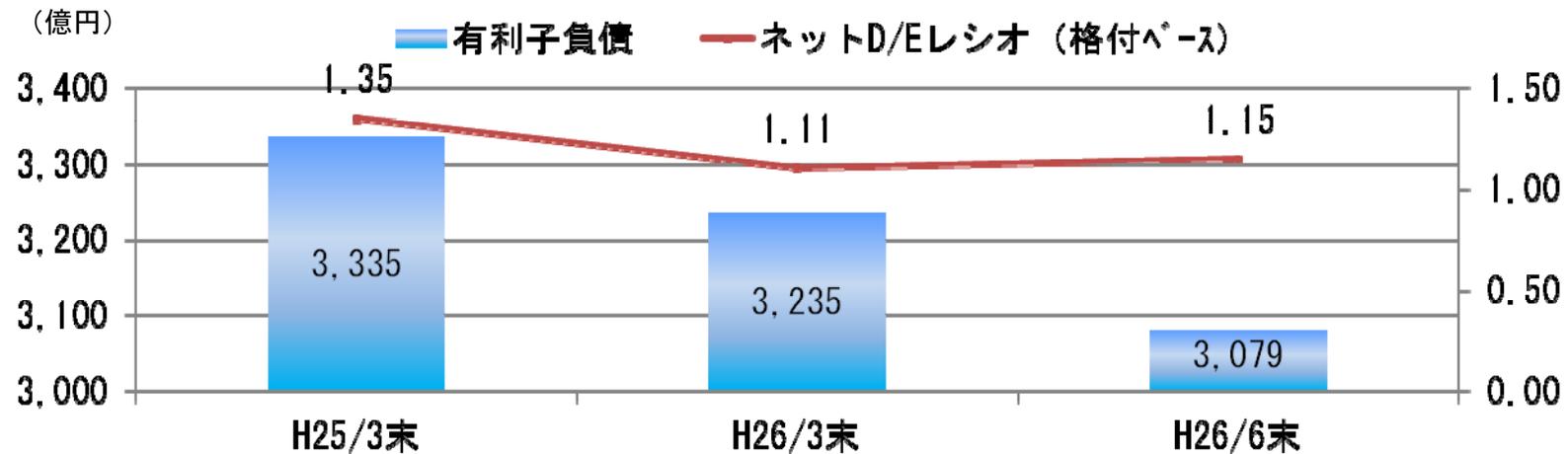
※H23年度以前は、日新製鋼連結



	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年予想 (予想)
設備投資	203	185	215	211	300
減価償却費	384	366	309	221	250

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	H25/3末	H26/3末	H26/6末
手許預金 (億円)	432	408	248
有利子負債 (億円)	3,335	3,235	3,079
ネットD/Eレシオ	1.69	1.36	1.42
〃 (格付けベース) ※	1.35	1.11	1.15

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券
 （利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債<劣後特約付・適格機関投資家限定>）
 500億円について、その50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、平成26年8月7日に行った決算発表内容に基づき作成されており、本資料に含まれている当社の将来における計画、戦略、業績に関する見通しの記述については、当社が同日の段階で把握可能な情報から判断したもので、不確定要素を含んでおります。これらの見通し等は、内外の政治経済情勢、主要市場における需要動向の変動、諸制度の変更など様々な重要な要素により実際の業績と異なる結果となることがあります。

従いまして、本資料にのみ依拠して投資判断されますことはお控えくださいますよう、お願いいたします。また、本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ先

日新製鋼株式会社

総務部 広報・IRチーム

TEL: 03-3216-5566